

みんなのた場

サークル仲間 154

鮎川七福神舞保存会

福を届ける

「めでたいやめでたいや」
軽快な雰囲気の中で始まる
七福神舞は、福を届ける舞
として、祝いの席やお祭り等
で披露されています。七福神
舞は、終戦の翌年、町が主催
する芸能大会の出し物とし
て、町に明るさを取り戻した
という想いから、当時、田
代島で歌われていた地唄を
鮎川に持ち込み、子どもたち
に習わせて出演させたのが
始まりです。

当初は、子どもたちにより
披露されていた七福神舞は、
大人の女性たちに引き継が
れ、昭和61年に「鮎川七福

神舞保存会」が発足し、現在
は、女性13人により継承され
ています。

保存会の会長、柴崎美恵
子さんも、小学3年生で七
福神舞を習い、就職のため
一時は離れたものの、町の幸
せを願う気持ちから活動を
再開し、現在に至ります。鮎
川が捕鯨で栄えた時代も、
商業捕鯨が禁止され寂しく
なってきた時代も、福を届け
ようと、変わらぬ想いで舞い
を続けてきたそうです。

地元のお祭りや行事の
他、金華山黄金山神社や県
外からも出演依頼が来るほ

どで、今では地域を代表する
伝統芸能となっています。そ
んな七福神舞も、人口減少
や高齢化により、担い手の確
保に苦慮しており、柴崎さん
は、「絶やしてはならぬ」とい
う想いから、新規メンバーの
獲得に留まらず、子どもたち
への継承にも力をいれていま
す。

鮎川小学校では震災後の
平成25年から地域との交流
や伝統芸能を学ぶ取り組み
として七福神舞を取り入れ、
保存会のメンバーが指導に当
たっています。練習の成果は、
毎年、学芸会で披露されて
おり、今年は、全校児童8人
で、唄、太鼓、舞いと、一人
で、何役もこなし披露します。

練習会では、子どもたち
が、唄の間の取り方、振り付
けの細かな仕草など、保存
会からのアドバイスを熱心に
耳を傾け、一生懸命練習し
ていました。

小さな七福神たちは、大き
な福を届けてくれそうです。



鮎川七福神舞保存会の皆さん(牡鹿鯨まつり)



鮎川小学校の練習会

キラリ★まきっこ 8

なによりも空手が大好き

にしむら さな 西村 桜奈さん(蛇田中2年)

小学3年生から空手をしています。幼い頃から周りに勧められていま
したが、習っていたヒップホップダンスに夢中だったことに加え、人と戦った
りするのはちょっと…と気が進まないでいました。でも、ある日、見学に行っ
た際になぜか興味が出て、それ以来、空手にのめり込んでいきました。

始めたてのころはコロナ禍で、ほとんどの大会が中止だったため、初め
て大会に出場したのは小学6年生の時でした。これを機に、さらに空手
が楽しく、好きになりました。中学に上がり、東北大会や全国大会に出場
できるようになったことは自信につながりました。今の目標は昨年同様、
全国中学生選抜大会「未来くん杯」の県予選で出場権を獲得すること
です。気を引き締めて頑張りたいです。



市報いしのまき 第315号 令和6年11月1日発行

発行 石巻市総務部秘書広報課 ☎0225-95-1111 FAX23-4340
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1編集/制作 (株)石巻日日新聞社
古紙/パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油イ
ンキを使用しています。再生紙としてリサイクルでき
ます。「ごつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市の人口と世帯数(前年比)

令和6年9月末現在	人口	132,859人 (▲2,357)
	世帯数	62,552世帯 (81)